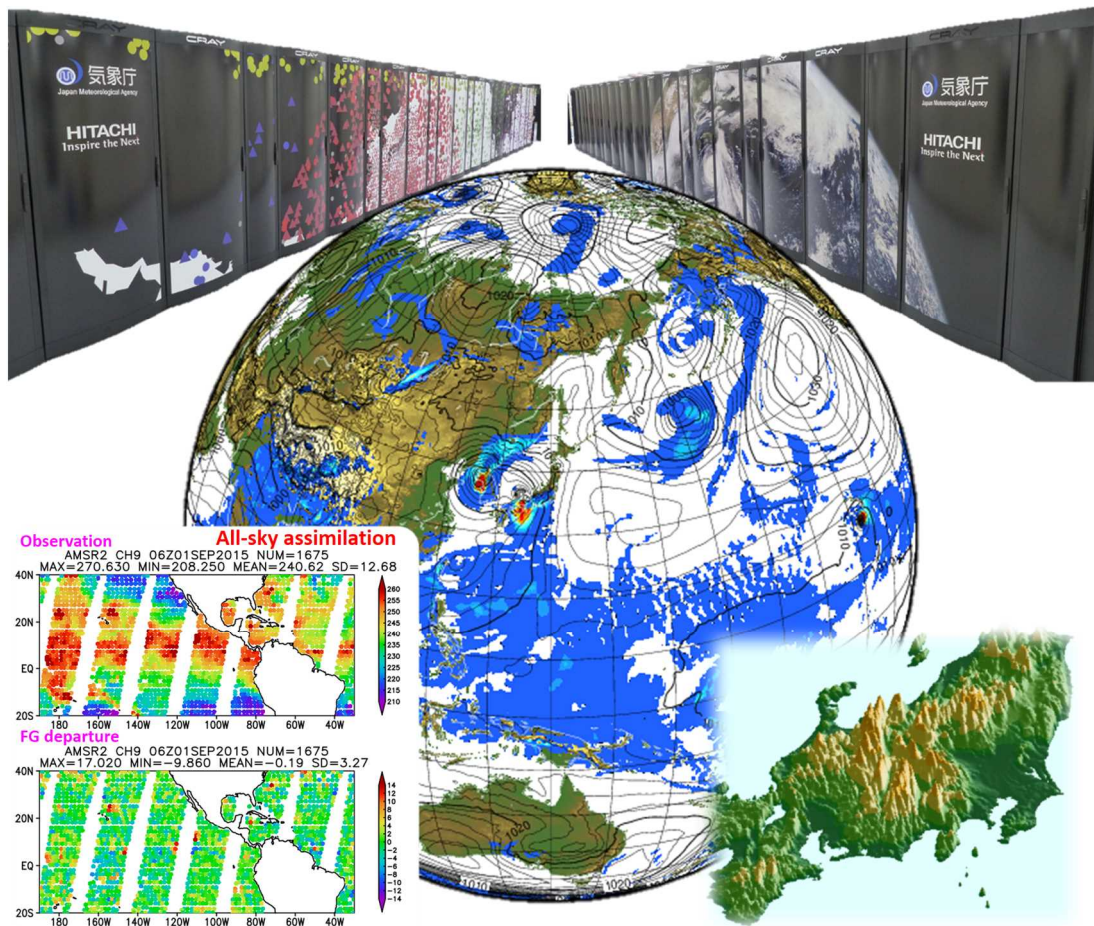


数値予報 60 年誌

～数値予報課 60 年(1959 - 2019)の歩み～



気象庁予報部数値予報課

目次

第1部 平成30年間の数値予報技術の変遷	1
1.1 平成30年間の数値予報技術の変遷	1
(1) 気象庁スーパーコンピュータ.....	1
(2) 気象庁数値予報システム.....	12
1.2 令和時代の数値予報	26
第2部 今後の数値予報への期待	35

まえがき

1959年に数値予報業務が開始され、今年2019年で60年を迎えることとなります。ちょうど平成から令和へと変わる時代でこの節目を迎えられたことは、喜ばしく思います。

そこで60年を記念し、「数値予報60年誌」を編纂する運びとなりました。

第1部は現役の数値予報課職員を代表し、まずプログラム班長と数値予報モデル開発推進官から平成30年間の数値予報技術の変遷として、気象庁スーパーコンピュータと現業数値予報システムについて、終わりに小職から令和時代の数値予報をテーマに、それぞれ記述しています。

第2部は今後の数値予報への期待と題し、気象庁の「数値予報モデル開発懇談会」委員をはじめとする有識者の先生などからご寄稿を頂戴しましたので、掲載させていただくこととしました。

気象庁では2018年10月、「2030年に向けた数値予報技術開発重点計画 ～国民一人一人の安全・安心を守り、活力ある社会を実現する数値予報イノベーション～」を策定し、数値予報の高度化・精度向上の取り組みを強力に推進する所としたところです。

60年という節目を迎え、これまでの数値予報技術開発に尽力された関係各位に敬意を表するとともに、社会のニーズや周囲からの期待に応え、数値予報のさらなる発展に取り組んで参りたいと考えておりますので、今後ともご指導よろしくお願いたします。

数値予報課長 室井ちあし